

第44号議案

「東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト7 近代遺跡としての「小石川植物園」(仮)」  
の共催名義の承認について

上記の議案を提出する。

令和3年11月8日

提 出 者 文京区教育委員会

教 育 長 加藤 裕一



文京区教育委員会 **共催** 後援 名義使用申請書

令和3年 10 月 22 日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 東京大学埋蔵文化財調査室

住所 (所在地) 東京都目黒区駒場4-6-1  
駒場リサーチキャンパス

代表者名 (ふりがな)

さとうひろゆき

代表者連絡先 室長 佐藤 宏之  
(事務担当者)

(事務担当者)

成瀬 晃司 03-5452-5103

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 **共催** 後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト7 近代遺跡としての「小石川植物園」(仮)		
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由	東京大学埋蔵文化財調査室は文京区教育委員会との協定により調査支援に関わり、本事業はその成果報告であること。		
実施期間	令和4年 3 月 19 日(土) から 年 月 日( ) まで ( 1日間)		
実施場所	文京区民センター		
事業内容	目的※	平成28年度から開始した小石川植物園の発掘調査は、文京区教育委員会が主体となって実施され、東京大学埋蔵文化財調査室は文京区教育委員会との協定により調査支援に関わった。本事業はその学術的な成果を報告するとともに、小石川植物園の文化財的な意義・価値等を区民に広く周知することを目的とする。	
	内容	温室及び関連遺構に関する発掘調査研究成果報告(シンポジウム)	
	対象者	研究者及び区民 (参加予定人員 80 人)	
	参加費	無料	
他団体の共催、後援等(申請中、承認済の別)	なし		
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <b>同意する</b> ・ 同意しない			

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

# 事業予算書

事業名 東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト7  
近代遺跡としての「小石川植物園」

団体名 東京大学埋蔵文化財調査室

収 入	単位：円	支 出	単位：円
東京大学事業費	243,400	資料印刷費 チラシ印刷費 講演者謝金(2名) 感染症対策費 事務費	100,000 50,000 73,400 10,000 10,000
計	243,400	計	243,400

令和3年 10 月 22 日

(備 考)

## 【企画書】

東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト7

### 近代遺跡としての「小石川植物園」(仮)

#### 開催主旨

東京大学大学院理学系研究科附属植物園本園(以下、小石川植物園)ではかねてから課題となっていた公開温室(明治29～33年建設)の改修計画が具体化され、2016年に公開温室の解体を含む新温室建設に伴う発掘調査を実施した。小石川植物園は2012年に「史跡及び名称小石川植物園(御薬園跡及び養生所跡)」として国指定を受けたため、新温室建設には史跡要素をなす公開温室煉瓦躯体を可能な限り現状保存する設計が盛り込まれた。解体部に関しても三次元計測をはじめ煉瓦組積構造記録など可能な限りの記録保存を行った。今回の発掘調査では公開温室以外にも明治・大正期の温室及び関連諸施設遺構が検出され、小石川植物園近代施設の変遷、構造解明に関する有用な情報を得ることができた。

現在、再来年の報告書刊行に向けて考古資料の整理・分析を進める一方、学内に保存されている温室関連の文献資料、図面、写真を調査・収集も行っている。報告書ではこれらの調査研究成果に加え、煉瓦及び煉瓦建造物に関する関連諸分野の研究者に各視点から観た小石川植物園近代遺構の評価を依頼した。

本シンポジウムは、その中間報告として、これまでの研究成果と相互の情報共有を通し、協同研究としてさらなる指向を目指し、かつ研究者及び一般区民の方に「近代遺跡としての小石川植物園」を公開することを目的とする。

事業名称 東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト7

テーマ 近代遺跡としての「小石川植物園」(仮題)

主催 東京大学埋蔵文化財調査室

共催 文京区教育委員会

日時 令和4年3月19日(土)13:00～17:00

会場 文京区民センター(予定)

定員 90名(関係者含む)

参加費 無料

広報 埋蔵文化財調査室HP、文京区HPおよび区報、チラシ(検討中)

#### 報告内容(予定)

1. 挨拶—小石川植物園の史跡指定の経緯と意義(仮題)

丹野 祥枝(文京区教育委員会)

2. 遺構からみた植物園施設の変遷(仮題)

成瀬 晃司(東京大学埋蔵文化財調査室)

3. 近代煉瓦建築としての公開温室(仮題)

青木 祐介(横浜開港資料館・横浜都市発展記念館)

4. 公開温室及び諸施設使用煉瓦と近代煉瓦生産(仮題)

中野 光将(清瀬市郷土資料館)

### 文京区支援依頼事項

- ・会場予約 文京区民センター 3月19日(土)午前・午後
- ・広報支援(HP、区報、チラシ配付)
- ・当日会場支援

### 感染症対策

- ・体調不良者への参加辞退協力依頼
- ・会場内でのマスク着用、入場時の手洗い・手指消毒協力依頼
- ・会場内飲食禁止協力依頼
- ・入場時の参加者確認と非接触型体温計による検温
- ・消毒液の設置、会場換気
- ・緊急事態宣言発令の場合、Zoomによるオンライン開催に変更あり

## 東京大学埋蔵文化財調査室調査研究プロジェクト一覧

回数	開催年	タイトル
第1回	2015.1	江戸富山藩邸の調査・研究報告会
第2回	2016.3	向岡記碑の研究 －3Dデジタル測量による記録保存と向岡記碑の保存修復報告書－
第3回	2017.5	江戸藩邸と国元・金沢の食生活
第4回	2018.9	医学部附属病院入院棟A地点の成果 －17世紀後葉の陶磁器から－
第5回	2019.12	加賀藩邸出土陶磁器と科学分析
第6回	2021.3	18・19世紀の福建・広東諸窯の貿易陶磁器

※各会内容は、以下のURLから御覧下さい

<http://www.aru.u-tokyo.ac.jp/project.htm>

